

# 第 1 編

---

## 道 路 設 計

- 第 1 章 道路設計
- 第 2 章 土工
- 第 3 章 舗装
- 第 4 章 擁壁
- 第 5 章 排水
- 第 6 章 ボックスカルバート
- 第 7 章 1.5 車線の道路整備
- 第 8 章 街路事業



## 目 次 【第 1 編 道路設計】

### 第 1 章 道路設計

1 設計計画一般（標準）	1-1-1
1-1 道路事業の流れ	1-1-1
1-1-1 道路機能の分類	1-1-1
1-2 設計計画に必要な事前調査等	1-1-1
1-3 道路計画の手順	1-1-3
1-3-1 道路設計の分類	1-1-3
1-3-2 道路設計（計画，設計）の各段階の内容	1-1-4
1-3-3 概略設計の内容	1-1-4
1-3-4 予備設計の内容	1-1-5
1-3-5 道路計画，設計，施工の手順	1-1-6
1-4 路線計画に必要な調査	1-1-7
1-5 路線選定の決定要因	1-1-8
1-5-1 技術的要因	1-1-8
1-5-2 経済的要因	1-1-8
1-5-3 社会的要因	1-1-8
1-6 路線選定，コントロールポイントの選定	1-1-9
1-6-1 基本方針	1-1-9
1-6-2 コントロールポイントの選定	1-1-9
1-7 関係機関との協議	1-1-11
1-7-1 河川協議	1-1-11
1-7-2 鉄道協議	1-1-13
1-7-3 交差道路	1-1-14
1-7-4 公安委員会との協議	1-1-14
1-7-5 その他の協議	1-1-15
1-8 道路法第 24 条による工事承認基準	1-1-15
1-9 道路事業に係る諸手続きについて	1-1-16
1-9-1 公共測量手続	1-1-16
1-9-2 建設リサイクルに関する手続き	1-1-18
1-9-3 保安林解除等	1-1-19
1-9-4 農業上の土地利用及び農業振興施策との調整	1-1-27
1-9-5 公有水面埋立	1-1-28
1-9-6 埋蔵文化財調査	1-1-37

1-9-7	土壌汚染対策法に基づく土地の形質変更の届出	1-1-43
<b>2</b>	<b>幾何構造設計</b>	1-1-45
2-1	幾何構造設計一般	1-1-45
2-1-1	道路構造令の趣旨と目的	1-1-45
2-1-2	道路構造令の適用範囲	1-1-46
2-1-3	一般的技術基準の意味	1-1-46
2-1-4	道路構造令の地方道への適用	1-1-47
2-1-5	地方自治体における道路構造基準について	1-1-47
2-2	道路構造に関する基本的考え方	1-1-50
2-2-1	多様な機能の重視	1-1-50
2-2-2	地域に応じた弾力的な基準の運用	1-1-51
2-3	道路の計画・設計の手順	1-1-51
2-3-1	道路構造決定の流れ	1-1-51
2-3-2	道路の特性に応じた必要な道路の機能の明確化	1-1-52
2-3-3	機能確保のための道路構造の決定	1-1-53
2-4	道路構造令の運用の考え方	1-1-54
2-4-1	諸規定の性格	1-1-54
2-4-2	弾力的な運用の場面	1-1-56
2-4-3	本県における弾力的な運用（県道の構造の技術的基準等に関する条例）	1-1-56
2-5	横断面の構成について	1-1-57
2-5-1	主な横断面構成要素の基本的な考え方	1-1-57
2-5-2	横断面の構成要素とその組み合わせ	1-1-58
2-5-3	横断面決定の流れ	1-1-60
<b>3</b>	<b>歩道の一般構造に関する基準</b>	1-1-61
3-1	総則	1-1-61
3-1-1	国道における整備方針	1-1-63
3-1-2	県道における整備方針	1-1-64
3-2	歩道の構造	1-1-65
3-3	横断歩道等に接続する歩道の部分等の構造	1-1-67
3-4	車両乗入部の構造	1-1-81
3-4-1	乗入部の設置例	1-1-83
3-5	既設のマウントアップ形式の歩道における対応	1-1-88

3-6	自転車歩行者道の構造	1-1-89
3-7	その他留意事項	1-1-89
<b>4</b>	<b>平面交差</b>	1-1-90
4-1	適用範囲	1-1-90
4-2	設計方針	1-1-90
4-2-1	平面交差点の幾何構造と交通制御の整合性	1-1-90
4-2-2	計画設計の手順	1-1-91
<b>5</b>	<b>取付道路</b>	1-1-92
5-1	取付道路	1-1-92
5-1-1	標準構造	1-1-92
5-1-2	取付道路の舗装範囲	1-1-93
5-1-3	取付道路の舗装区分	1-1-93
<b>6</b>	<b>副道及び側道</b>	1-1-94
6-1	舗装構成	1-1-94
6-2	副道及び側道等の舗装(日本道路協会 道路構造令の解説と運用 参照)	1-1-94
<b>7</b>	<b>交通安全施設</b>	1-1-95
7-1	交通安全事業	1-1-95
7-1-1	工種一覧	1-1-95
7-2	自転車横断帯	1-1-96
7-2-1	適用基準	1-1-96
7-2-2	自転車横断帯について	1-1-96
7-3	中央帯及び車両停車帯	1-1-98
7-3-1	適用基準	1-1-98
7-3-2	バス停の位置	1-1-98
7-3-3	バス停の構造	1-1-98
7-3-4	舗装構造	1-1-99
7-4	付加追越車線	1-1-99
7-4-1	適用基準	1-1-99
7-4-2	付加追越車線	1-1-99
7-4-3	ゆずり車線	1-1-99
7-4-4	標示板	1-1-99

7-5	登坂車線	1-1-99
<b>8</b>	<b>現道残部の処理</b>	1-1-100
8-1	道路旧道敷地の処理	1-1-100
<b>9</b>	<b>用地幅杭及び用地境界杭の設置</b>	1-1-101
9-1	用地杭の設置	1-1-101
9-1-1	用地杭の構造及び設置の時期	1-1-101
9-1-2	切土部における用地杭の設置	1-1-101
9-1-3	盛土部における用地杭の設置	1-1-102
9-1-4	市街地における用地杭の設置	1-1-103
9-1-5	切土、盛土のない部分における用地杭の設置	1-1-103
9-1-6	暫定施工の場合の用地杭の設置	1-1-103
9-1-7	橋梁、トンネルにおける用地杭の設置	1-1-104
9-2	用地境界杭の設置方法	1-1-104
9-2-1	用地境界杭の設置時期	1-1-104
9-2-2	用地境界杭の構造	1-1-105
<b>10</b>	<b>暫定施工</b>	1-1-107
<b>11</b>	<b>道路の区域決定（変更）及び供用開始の手続きについて</b>	1-1-109
11-1	区域決定（変更）及び供用開始手続きの位置付け	1-1-109
11-2	区域決定（変更）（道路法第18条第1項）	1-1-110
11-3	供用開始（道路法第18条第2項）	1-1-112

## 第2章 土工

1 適用	1-2-1
2 道路土工の基本的考え方	1-2-2
2-1 道路建設の流れと土工計画	1-2-2
3 土及び岩の分類	1-2-3
3-1 土の分類	1-2-3
3-2 岩の分類	1-2-3
3-3 土量の変化率	1-2-4
4 道路土工の構成	1-2-5
4-1 各部の名称及び標準構成	1-2-5
4-2 名称の解説及び機能	1-2-5
4-3 道路土工構造物の要求性能	1-2-8
4-4 長大切土と高盛土	1-2-11
5 切土	1-2-12
5-1 切土調査手法	1-2-12
5-2 標準横断図	1-2-14
5-3 切土設計の基本（切土の要求性能）	1-2-14
5-4 切土のり面勾配	1-2-17
5-5 特に注意の必要な切土	1-2-18
5-6 切土小段	1-2-21
5-7 のり肩	1-2-22
5-8 （参考資料）労働安全衛生規則の抜粋	1-2-23
5-9 切土のり面の安定計算	1-2-24
6 床掘	1-2-25
6-1 床掘勾配等	1-2-25
7 切土のり面の保護工	1-2-27
7-1 のり面保護工の種類と目的	1-2-27
7-2 のり面保護の選択	1-2-27
7-3 のり面保護工の選定フロー	1-2-28
7-4 植生によるのり面保護工	1-2-29

7-5	屋久島地区及び奄美大島, 徳之島地区におけるのり面保護	1-2-30
7-6	のり面排水工	1-2-30
7-7	構造物工によるのり面保護工	1-2-32
7-7-1	モルタル及びコンクリート吹付工	1-2-32
7-7-2	プレキャスト枠工	1-2-33
7-7-3	吹付枠工	1-2-33
7-7-4	現場打コンクリート枠工	1-2-34
7-7-5	アンカー工	1-2-34
<b>8</b>	<b>環境・景観対策</b>	1-2-35
8-1	環境対策	1-2-35
8-2	景観対策	1-2-36
<b>9</b>	<b>斜面崩壊対策</b>	1-2-37
9-1	設計の基本	1-2-37
9-2	斜面崩壊対策	1-2-40
9-3	落石・岩盤崩壊対策	1-2-40
9-4	地すべり対策・土石流対策	1-2-44
<b>10</b>	<b>盛土</b>	1-2-45
10-1	盛土調査手法	1-2-45
10-2	標準横断図	1-2-45
10-3	盛土設計の基本(盛土の要求性能)	1-2-46
10-4	盛土の安定	1-2-49
10-5	盛土のり面勾配	1-2-51
10-6	盛土小段	1-2-51
10-7	盛土材料	1-2-53
10-8	土羽土	1-2-53
10-9	排水処理	1-2-54
10-10	締固め管理基準値	1-2-55
10-11	軟弱地盤上の盛土	1-2-55
10-12	補強盛土・軽量盛土	1-2-56
10-13	盛土のり面におけるのり面保護工	1-2-57
10-14	高盛土	1-2-57
10-14-1	設計施工上の留意事項	1-2-57
10-15	舗装工前の路側排水	1-2-58



<b>11 土工定規</b> .....	1-2-59
11-1 盛土部 .....	1-2-59
11-2 切土部 .....	1-2-59
11-3 片切片盛部 .....	1-2-60
<b>12 段切り, 片切り, 片盛り, 切盛境及び腹付盛土</b> .....	1-2-61
12-1 段切り及び片切り, 片盛り .....	1-2-61
12-2 切盛境の摺付け .....	1-2-61
12-3 腹付盛土 .....	1-2-62
<b>13 道路土工量の算出</b> .....	1-2-63
13-1 曲線区間における道路土工量の算出方法 .....	1-2-63
<b>14 盛土と構造物の接合部の施工</b> .....	1-2-65
14-1 盛土の沈下と構造物 .....	1-2-65
14-2 裏込め及び埋戻し .....	1-2-66
<b>15 維持管理を考慮したのり面対策</b> .....	1-2-69
15-1 路肩の構造 .....	1-2-69
<b>16 軟弱地盤対策</b> .....	1-2-70
16-1 総論 .....	1-2-70
16-1-1 概要 .....	1-2-70
16-1-2 判定基準等 .....	1-2-70
16-2 軟弱地盤の問題点, 検討 .....	1-2-73
16-2-1 軟弱地盤の問題点 .....	1-2-73
16-2-2 軟弱地盤の検討 .....	1-2-73
16-3 軟弱地盤の対策工法, 留意事項 .....	1-2-79
16-3-1 対策工法 .....	1-2-79
16-3-2 留意事項 .....	1-2-80
16-4 各論 .....	1-2-81
16-4-1 深層混合処理工法 .....	1-2-81
<b>17 記録の保存</b> .....	1-2-85
17-1 記録の活用 .....	1-2-85

## 第3章 舗装

1 舗装一般（標準）	1-3-1
1-1 舗装の設計	1-3-2
1-1-1 アスファルト舗装を採用する場合	1-3-2
1-1-2 コンクリート舗装の採用を検討する場合	1-3-2
1-2 舗装の構成	1-3-3
1-2-1 各層の役割	1-3-3
1-2-2 舗装の構成	1-3-4
1-3 本線舗装とランプ道路舗装の舗装区分	1-3-5
1-3-1 ランプ道路の舗装区分	1-3-5
1-3-2 取付道路の舗装区分	1-3-5
1-4 舗装の設計期間	1-3-6
1-5 舗装計画交通量	1-3-6
1-6 舗装の性能指標	1-3-7
1-6-1 舗装の性能指標の値	1-3-7
1-7 設計条件の設定に必要な調査	1-3-8
1-8 路面設計	1-3-9
1-8-1 表層材料の決定	1-3-10
1-8-2 表層厚の決定	1-3-10
1-8-3 路面設計の留意点	1-3-10
2 アスファルト舗装	1-3-11
2-1 アスファルト舗装の構造設計	1-3-11
2-1-1 アスファルト舗装の設計	1-3-11
2-1-2 アスファルト舗装の材料	1-3-11
2-1-3 アスファルト舗装の施工	1-3-11
2-1-4 舗装厚の設計	1-3-12
2-1-5 舗装構成の決定例	1-3-16
2-1-6 標準アスファルト舗装構成	1-3-16
2-2 重交通道路における耐流動対策	1-3-21
2-3 路肩部等の詳細	1-3-23
2-3-1 路肩の構造	1-3-23
2-3-2 路肩部	1-3-24
2-3-3 緑地帯	1-3-25
2-3-4 高級舗装以外の1車線道路の路肩の構造	1-3-25

<b>3</b>	<b>コンクリート舗装</b>	1-3-26
3-1	コンクリート舗装の種類と特徴	1-3-26
<b>4</b>	<b>機能別の舗装</b>	1-3-27
4-1	すべり止め舗装	1-3-27
4-1-1	すべり止め舗装の採択基準	1-3-27
4-1-2	すべり止め舗装の工法	1-3-28
4-2	その他の機能別の舗装	1-3-28
4-3	材料別の舗装	1-3-29
4-4	構造別の舗装	1-3-31
<b>5</b>	<b>歩道および自転車道等の舗装</b>	1-3-32
5-1	一般的なアスファルト舗装	1-3-32
5-2	透水性舗装	1-3-32
5-2-1	構造	1-3-32
5-2-2	材料	1-3-33
5-3	インターロッキング舗装	1-3-34
5-4	コンクリート舗装	1-3-34
<b>6</b>	<b>路盤</b>	1-3-35
6-1	下層路盤	1-3-35
6-2	上層路盤	1-3-36
6-3	上層路盤に用いる安定処理工法	1-3-37
6-4	不陸整正	1-3-37
6-5	改良工事について	1-3-38
6-6	粒調 Fe 石灰路盤材の使用について	1-3-38
<b>7</b>	<b>路床</b>	1-3-39
7-1	設計 CBR	1-3-39
7-1-1	路床土の調査	1-3-39
7-1-2	路床の評価	1-3-41
7-1-3	構築路床	1-3-44
7-2	軟弱な路床土	1-3-46
7-2-1	置換工法	1-3-46
7-2-2	安定処理工法	1-3-49
7-2-3	サンドイッチ舗装工法	1-3-50

<b>8 その他</b>	1-3-51
8-1 岩盤上の舗装	1-3-51
8-1-1 横断方向に岩盤がある場合	1-3-51
8-1-2 縦断方向に岩盤がある場合	1-3-51
8-1-3 歩道部が岩盤の場合	1-3-52
8-2 現道嵩上げ高が大きい場合の本線の舗装	1-3-52
8-3 停車帯の構造	1-3-52
8-4 バス停車帯(原則第1種, 第2種, 第3種第1級の道路), 非常駐車帯	1-3-52
8-5 登坂車線, 付加追越車線の構造	1-3-52
8-6 その他基本幅員より広い部分の舗装	1-3-53
8-7 取付道路の舗装構造	1-3-53
8-8 車両乗入部の舗装構成	1-3-53
8-9 大型車両出入口等の舗装	1-3-54
8-10 区画線	1-3-55
8-11 道路の曲線部拡幅	1-3-57
8-12 アスカーブの設置	1-3-57
8-13 環境の保全と改善	1-3-57
<b>9 参考資料</b>	1-3-59
9-1 簡易舗装における標準舗装構成	1-3-59
9-2 設計期間10年, 信頼性90%とした場合の舗装構成表(参考)	1-3-62

## 第4章 擁壁

1 適用基準	1-4-1
2 一般	1-4-2
3 擁壁設計の考え方	1-4-2
4 計画	1-4-3
4-1 擁壁の種類	1-4-3
4-2 擁壁工の基本	1-4-3
4-3 基本計画	1-4-4
4-4 調査および検討事項	1-4-5
4-5 構造形式の選定	1-4-5
4-5-1 構造形式選定上の目安	1-4-5
4-5-2 構造形式の設定手順	1-4-5
4-6 基礎形式の選定	1-4-8
4-7 土質・地盤調査	1-4-11
5 構造設計上の留意事項	1-4-12
5-1 擁壁設計の基本	1-4-12
5-1-1 擁壁の要求性能	1-4-12
5-1-2 性能の照査	1-4-13
5-2 土木構造物標準設計の運用	1-4-13
5-2-1 標準設計を使用する際の留意点	1-4-13
5-2-2 標準設計における地震の影響	1-4-14
5-3 基礎工設計の留意点	1-4-15
5-3-1 置換え基礎	1-4-15
5-3-2 杭基礎	1-4-17
6 設計条件	1-4-18
6-1 設計諸定数の基本的な考え方	1-4-18
6-2 設計条件	1-4-19
6-3 配筋規定	1-4-22
7 滑動に対する安全性の確保	1-4-23

<b>8 各種擁壁の設計</b> .....	1-4-24
8-1 コンクリートブロック積（張）及び石積擁壁 .....	1-4-24
8-1-1 コンクリートブロック積（張）擁壁 .....	1-4-24
8-1-2 大型ブロック積擁壁 .....	1-4-26
8-2 コンクリート擁壁 .....	1-4-27
8-2-1 基礎根入れ深さ .....	1-4-27
8-2-2 擁壁に防護柵を設置する場合の設計について .....	1-4-28
8-2-3 目地 .....	1-4-30
8-3 片持ち梁式擁壁 .....	1-4-33
8-3-1 構造細目 .....	1-4-33
8-3-2 配筋規定 .....	1-4-33
8-3-3 鉄筋かぶり .....	1-4-34
8-4 井げた組擁壁 .....	1-4-34
8-5 もたれ式擁壁 .....	1-4-34
8-5-1 適用の範囲 .....	1-4-34
8-5-2 擁壁自体の安定性の照査 .....	1-4-34
8-6 補強土擁壁 .....	1-4-36
8-6-1 種類 .....	1-4-36
8-6-2 特徴 .....	1-4-36
8-7 プレキャストコンクリート擁壁 .....	1-4-37
8-8 軽量材を用いた擁壁 .....	1-4-37
8-9 その他の特殊な擁壁 .....	1-4-38
8-9-1 山留め式擁壁 .....	1-4-39
8-9-2 深礎杭式擁壁 .....	1-4-39
8-9-3 繊維補強土擁壁 .....	1-4-39
8-10 設計条件の明記 .....	1-4-40

## 第5章 排水

1 適用基準	1-5-1
2 排水の目的	1-5-1
3 排水施設の区分と名称（標準）	1-5-2
4 排水の種類	1-5-3
5 設計にあたっての基本事項	1-5-4
5-1 流出量の算定	1-5-4
5-2 降雨確率年	1-5-5
5-3 地域別降雨強度	1-5-6
5-3-1 降雨強度	1-5-6
5-4 集水面積	1-5-11
5-5 流出係数	1-5-12
5-6 流出量の例題	1-5-13
5-7 通水量	1-5-17
5-7-1 排水断面の決定	1-5-17
5-7-2 流速の許容範囲	1-5-18
5-7-3 断面の決定	1-5-18
5-8 排水施設の勾配と断面	1-5-18
5-8-1 勾配	1-5-18
5-8-2 断面	1-5-18
6 表面排水施設の設計（標準）	1-5-19
6-1 路肩排水	1-5-19
6-2 のり面排水	1-5-19
6-2-1 小段排水工等	1-5-19
6-3 横断管渠	1-5-21
6-4 排水施設の基礎構造	1-5-22
6-5 その他	1-5-22
6-5-1 取付管，排水管およびマンホール	1-5-22
6-5-2 側溝ふたの採択基準	1-5-23
6-5-3 素掘側溝（参考）	1-5-23
6-5-4 路側擁壁とL型側溝（参考）	1-5-23

6-5-5	石積とふた付L型側溝	1-5-23
6-5-6	バリアフリーを考慮した排水計画	1-5-23
<b>7</b>	<b>地下排水施設の設計</b>	<b>1-5-24</b>
7-1	路側の地下排水溝	1-5-24
7-2	地下排水管（有孔管及び透水管）	1-5-25
<b>8</b>	<b>構造物排水施設</b>	<b>1-5-26</b>
8-1	地下道	1-5-26
8-2	裏込排水	1-5-26
<b>9</b>	<b>パイプカルバートの設計</b>	<b>1-5-26</b>
9-1	設計上の注意事項	1-5-26
9-2	ヒューム管（RC, PC）の使用選定	1-5-27
9-3	基礎形式選定図の使用にあたって	1-5-27



## 第6章 ボックスカルバート

1 適用基準	1-6-1
2 カルバート一般	1-6-2
2-1 定義	1-6-2
2-2 従来型カルバート	1-6-2
2-2-1 従来型カルバート	1-6-2
2-2-2 従来型カルバートの適用範囲	1-6-3
2-3 従来型以外のカルバート等	1-6-4
2-4 カルバート工の基本的な考え方	1-6-4
2-5 調査・計画	1-6-5
2-6 構造形式の選定	1-6-5
3 基礎地盤対策の選定	1-6-7
3-1 直接基礎	1-6-7
3-2 軟弱地盤にカルバートを設置する場合	1-6-8
3-3 地表近くに軟弱層がある場合	1-6-8
3-4 杭基礎	1-6-8
3-5 支持層が傾斜している場合やカルバートの縦断方向で極端に支持力の異なる地盤がある場合	1-6-9
3-6 プレローディング工法（参考）	1-6-10
3-6-1 プレロードの高さ及び範囲	1-6-10
3-6-2 放置期間	1-6-10
4 設計に関する一般事項	1-6-11
4-1 設計の基本	1-6-11
4-2 地震動の作用に対する照査方法	1-6-14
4-3 地盤の支持力	1-6-14
4-4 許容応力度	1-6-15
4-4-1 許容応力度の割増し	1-6-15
4-4-2 コンクリートの供用応力度	1-6-15
4-4-3 鉄筋の許容応力度	1-6-16
4-5 鉄筋コンクリートの構造細目	1-6-17
4-6 配筋方法	1-6-17
4-6-1 配筋仕様	1-6-17
4-6-2 配筋規定	1-6-17

4-6-3	ハンチの省略	1-6-19
4-7	耐久性の検討	1-6-19
4-7-1	塩害に対する検討	1-6-19
4-7-2	塩害の影響を考慮したかぶり	1-6-20
<b>5</b>	<b>剛性カルバートの設計</b>	1-6-21
5-1	従来型剛性ボックスカルバートの設計	1-6-21
5-1-1	設計断面	1-6-21
5-1-2	土かぶり	1-6-21
5-1-3	照査項目	1-6-22
5-2	設計に用いる荷重	1-6-22
5-3	土圧	1-6-23
5-4	活荷重	1-6-24
5-5	荷重の組合せ	1-6-26
5-6	地震の影響	1-6-27
<b>6</b>	<b>内空断面</b>	1-6-28
6-1	道路用カルバート	1-6-28
6-2	水路用カルバート	1-6-29
6-3	軟弱地盤上のカルバート	1-6-29
<b>7</b>	<b>構造細目</b>	1-6-30
7-1	継手	1-6-30
7-2	地覆およびウイング	1-6-32
7-2-1	地覆の形状	1-6-32
7-2-2	ウイングの形状	1-6-32
7-2-3	パラレルウイングの計算	1-6-33
7-2-4	ウイング配筋	1-6-33
7-3	止水壁	1-6-34
7-4	既設ボックスカルバート継足部の継手構造（参考）	1-6-34
7-5	軟弱地盤用段差継手	1-6-35
<b>8</b>	<b>背面の設計（参考）</b>	1-6-36
8-1	裏込め工	1-6-36
8-2	排水工	1-6-37
8-3	踏掛版	1-6-38

<b>9 傾斜のつくボックスカルバート</b> .....	1-6-39
<b>10 ボックスカルバートの上げ越し（参考）</b> .....	1-6-40
10-1 残留沈下量 .....	1-6-40
10-2 沈下量の推定 .....	1-6-40
10-3 上げ越し量 .....	1-6-40
<b>11 プレキャストボックスカルバート</b> .....	1-6-41
11-1 プレキャストボックスカルバートの設計 .....	1-6-41
<b>12 アーチカルバート</b> .....	1-6-43
12-1 土被りと部材断面 .....	1-6-43
12-2 設計に用いる荷重 .....	1-6-43
12-3 断面力の計算 .....	1-6-44
<b>13 記録の保存</b> .....	1-6-45
13-1 設計条件の明記 .....	1-6-45
13-2 記録の活用 .....	1-6-45
13-3 記録の例 .....	1-6-46
13-4 参考 .....	1-6-47

## 第7章 1.5車線の道路整備（案）

1 総則	1-7-1
1-1 1.5車線の道路整備とは	1-7-1
1-2 導入の背景	1-7-1
1-3 整備方針	1-7-1
1-3-1 整備区間・方法	1-7-1
1-3-2 住民への説明と理解	1-7-2
1-3-3 整備効果の検討	1-7-2
2 技術的基準	1-7-2
2-1 対象区間	1-7-2
2-2 適用基準	1-7-2
2-3 設計区間	1-7-2
2-4 道路の区分及び設計速度	1-7-2
2-5 横断面構成	1-7-3
2-5-1 車道及び車線	1-7-3
2-5-2 路肩	1-7-3
2-5-3 保護路肩	1-7-4
2-5-4 歩道	1-7-4
2-6 幾何構造	1-7-4
2-6-1 曲線半径	1-7-4
2-6-2 制動停止視距	1-7-4
2-6-3 合成勾配	1-7-4
2-6-4 曲線部の拡幅	1-7-4
2-7 待避所	1-7-5
3 選定基準フロー（案）	1-7-6

## 第8章 街路事業

1 街路事業	1-8-1
1-1 街路事業とは	1-8-1
1-2 街路事業と道路事業の区分	1-8-1
2 事業認可	1-8-3
2-1 事業認可の手順	1-8-3
2-2 その他参考資料	1-8-5
2-3 留意事項	1-8-5
2-3-1 事業認可	1-8-6
2-3-2 変更認可	1-8-7
2-3-3 都市計画法施行令第42条第2項に基づくお知らせの作成事例	1-8-9
2-3-4 関係権利者への通知文例	1-8-13
3 事業実施	1-8-14
3-1 実施にあたっての留意事項	1-8-14

